

五戸町議会第22回定例会 一般質問通告一覧表

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1	一問 一答	豊田孝夫	1. 農家の人手不足を補うための具体的方策について	<p>当町の農業は、水稻、果樹、畑作、ながいも、ニンニクなど多品種におよび、また、畜産業も行われているが、生産者の高齢化と後継者（担い手）不足による労働力の低下（人手不足）が否めない状況となっている。このような状態が続くと農業生産量の低下と農家の収入減少につながり、離農者の増加が懸念される。</p> <p>(1) 農家の人手不足に対応出来るような組織、団体は当町にあるのか。</p> <p>(2) 他市町村に見受けられるシルバー人材センターなるものはどのような仕組みとなっているのか。</p> <p>(3) 町単独で独自の組織・団体を組成する考えはないのか。</p> <p>(4) 農業を継続するために、作業委託をしたいと考えたとき、受入先を探す場合はどのようにすれば良いのか。</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
			2. 都市と農村の交流を 図るための具体的 方策について	<p>農作業の体験や農地・農場の見学などグリーンツーリズムが行われているが、農業を観光資源としても活用出来るように、更に都市と農村の交流を図る具体的な方策を考えていかなければならないと思う。また、農家の人手不足の手助けにもなれば良いと考える。</p> <p>(1) 当町におけるグリーンツーリズムの現状は。</p> <p>(2) 農産物直売所・観光農園の現状は。</p> <p>(3) 農業におけるインバウンドの推進は。</p> <p>(4) 農家民宿と農家民泊を行う場合の具体的な手続き等は。</p> <p>(5) 遊休農地を市民農園として活用することを考えていないのか。</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2	一 問 一 答	尾形裕之	1. 来年の町長選挙について	現町長は来年の町長選挙に出馬する予定か。
			2. 五戸高校廃校決定後のまちづくりにについて	<p>(1) 五戸高校廃校決定後、多くの町民は落胆している。町は何をもって町民に希望と勇気を与えていくのか。</p> <p>(2) 住民協議会の進捗状況は。</p> <p>(3) ブランドフード協議会はどのようにしていくのか。</p> <p>(4) 地消地産条例はどこまで進んでいるのか。また、すぐつくると言った乾杯条例はどうなったのか。</p> <p>(5) 魚道はできたが、その活用は。</p> <p>(6) 夏まつりに芸能人へ出演依頼をしているが、以前お願いした芸能人はどうなったのか。</p> <p>(7) SNS観光地として五戸町を売り出すことを考えていないのか。</p> <p>(8) 町は選挙投票所を15区の行政区に見直してしようだが、消防自動車の割り振りも行政区を利用しては。また、ポンプ車や小型動力ポンプ積載車の台数も検討すべきでは。</p> <p>(9) 障がい者が働く場を増やすために、例えば、公用地の草取りをお願いするなど、もう少し町は努力すべきでは。</p> <p>(10) 手話言語条例の制定を求め、議会に請願書が提出されているが、町長はこの条例制定についてどう考えるのか。</p> <p>(11) 乳幼児から中学生までの医療費の給付助成に、現在、所得制限がある。そろそろ考え直してはいかがか。</p> <p>(12) 町では、「おんこちゃん」を認定キャラクターとしているが、いつ認定したのか。また、今後どのようにしていくのか。</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
				<p>(13)町では、平成 27 年度より若年者定住助成金を町では支給しているが、出生数は 27 年度 75 人、28 年度 85 人、29 年度 84 人と増加しており、三戸町、南部町、階上町では 27 年度より対 29 年度の出生数が減少していることから、この政策は成功しているのでは。</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
3	一 問 一 答	鈴木隆也	1. ごのへ郷土館について	<p>(1) 建設に至った経緯と開業までに要した時間と総事業費は。</p> <p>(2) 来館者の数値目標はあるか。</p> <p>(3) 指定管理者決定に至った経緯は。また、年間の指定管理料は。</p> <p>(4) 指定管理者が作成した事業計画書には、多くの方々に来館して頂くための取組みは盛り込まれているか。その内容は。</p> <p>(5) 来館者を飽きさせないためには定期的な展示替えなどが必要と考える。展示替え等について町はどのような考えを持ち、どのように取り組むのか。</p> <p>(6) 町民の皆様にごのへ郷土館の存在意義を波及させるために、それを如何に利活用していくのか。</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
			2. 五戸町の宅地・住宅事情について	<p>五戸町には広大な土地がある、主を失った住宅も少なくない。しかし、若者や町外の方がいざ住もうとなると適当な物件が多くない。基本となる「住」が欠落することにより、定住へ向けたせつかくの好機を逸している現状にあると考える。</p> <p>(1) 空き家バンクの現状は。また、バンク登録物件の増加を目指す取組みは。</p> <p>(2) 空き家バンクならぬ「空き土地（宅地）バンク」も有効な取組みであると考え。取り組むお考えは。</p> <p>(3) 農地を宅地に用途変更する際の課題点は。また、その問題を改善するための施策は。</p> <p>(4) 町営住宅は倉石コスモス団地と、ひばり野のほか旧町内に集中している。そのほかの地域に町営住宅を建設する考えは。</p> <p>(5) 50 戸程度の比較的大きな団地にこだわらず、各地に 10 から 20 戸程度の団地を造成することが、地域、利用者そして財政に有利に働く場合もあると考える。団地造成を如何にお考えか。</p> <p>(6) 五戸町の子育て支援は他の自治体と比較しても遜色のないものだと考える。しかし、肝心の宅地や住まいが簡単に見つからないため「五戸町に住めない」という方々が多くいらっしゃる。この観点から人口流出や人口減少の問題を如何に考え、どのように取り組んでいくのか。</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
4	一 問 一 答	川 崎 七 洋	五戸町人口ビジョンの見直し根拠と施策効果について	<p>平成27年に五戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略が制定され、早や3年が経過し、今年度で4年目となる。改めて総合戦略を紐解くと2040年の五戸町人口は12,745人、2060年の五戸町人口は10,010人と目標が定めてある。</p> <p>(1) 国立社会保障・人口問題研究所の発表では2040年で11,044人、2060年で6,572人まで落ち込む予想である。</p> <p>目標はこの予測より2040年で15%も上、2060年は52%も上という非常に高い目標人口を掲げているが、現状の施策でこの目標を達成するビジョンが見えないように感じている。達成するまでの道筋を具体的にご教示いただきたい。</p> <p>(2) 人口増には少子化対策が必須であり、その指標として合計特殊出生率が上がることが大切と認識している。総合戦略やその他の施策により、この3年間でどのような成果があったのか、またどのような効果が今後出ると予測しているのか、数値情報を含めながらご教示いただきたい。</p> <p>(3) 五戸町の目標人口達成の条件として、2030年に転出者と転入者の差を0にするとしてある。総合戦略やその他の施策により、この3年間でどのような成果があったのか、またどのような効果が今後出ると予測しているのか、数値情報を含めながらご教示いただきたい。</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
				<p>(4) 五戸町独自の将来人口の推計については「人数」にフォーカスされているが、その内訳の計画が読み取れない。「どの産業にどの程度の人数増を目標とする」あるいは「どの地域にどの程度の人口増を目標とする」という計画はあるか。また、そのための施策などはあるか、ご教示いただきたい。</p>